

平成29年3月期 第3四半期

# 決算・会社説明会資料

株式会社インターワークス(東証1部 6032)



interworks inc.

証券コード 6032

# エグゼクティブサマリー



## 第3四半期 対前年比：増収増益で進捗。

第3四半期(累計)	全社	M&S事業	人材紹介事業	採用支援事業
売上高 対前年比	107.1%	106.7%	121.0%	99.3%
営業利益 対前年比	115.2%	124.1%	248.5%	9.9%

\* M&S事業：メディア&ソリューション事業



## 事業トピックス

### ☑ 採用支援事業

**[新卒採用支援] 役務提供のピークを迎える3月に向けて受注活動を行った**

» 第2四半期における新卒採用支援業務の役務提供期間短縮化/集中化に伴うコスト増に対応すべく定型業務の自動化システムの導入を進めた

### ☑ M&S事業：工場WORKSは引き続き堅調に推移し工場WORKSの売上高対前年比111.7%

» 売上高構成比の変化: 工場WORKSの売上構成比が上昇し**82.7%**  
結果、営業利益対前年比**124.1%**



## 平成29年3月期 連結業績予想

売上高：44億円 対前年比 **115.8%**

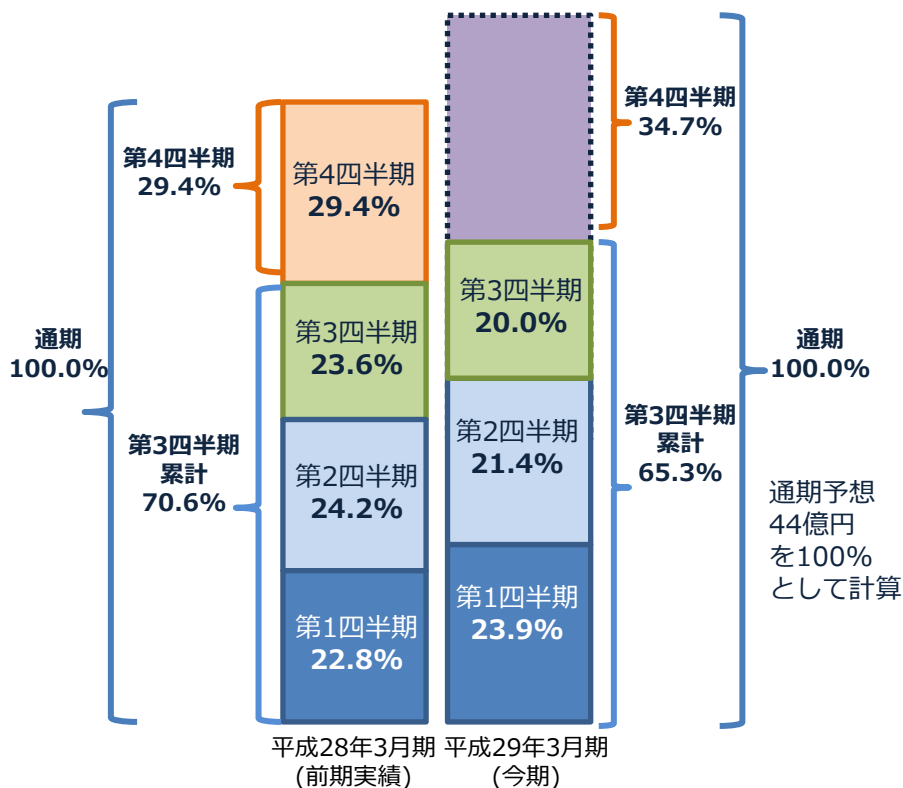
営業利益：9.6億円 対前年比 **120.7%**

- 1 **平成29年3月期 連結業績進捗**
- 2 **平成29年3月期 第3四半期 決算概要**
- 3 **平成29年3月期 第3四半期 セグメント別状況**
- 4 **平成29年3月期 連結業績・配当予想**

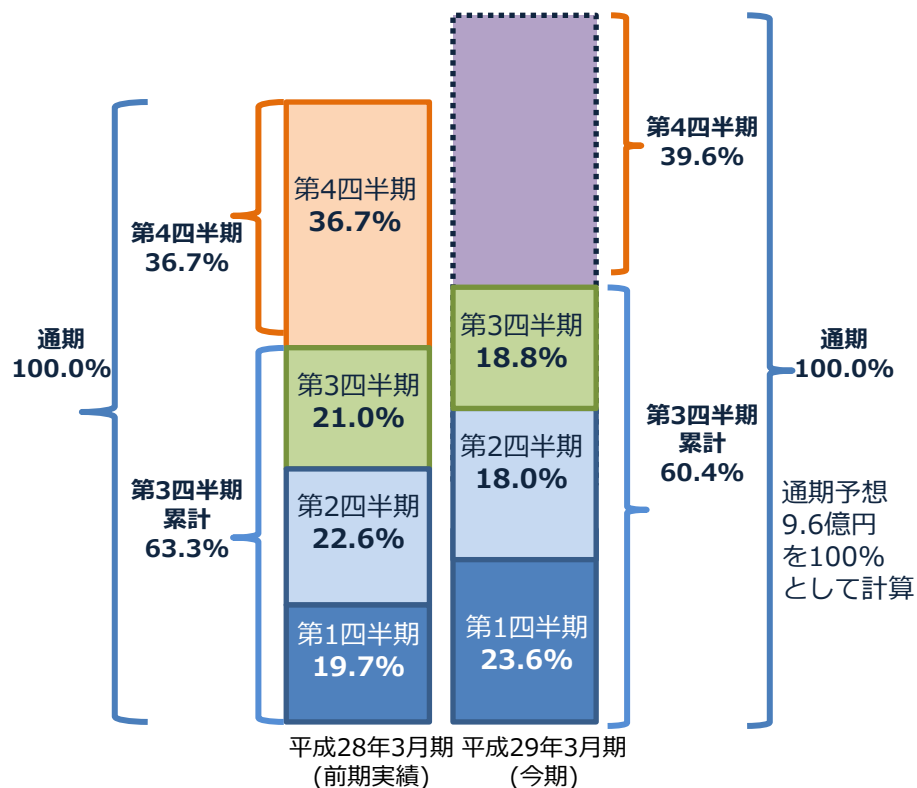
# 1 年次業績進捗トレンド

- ✓ 季節偏重により第4四半期に売上高・営業利益ともにピークを迎える
- ✓ 採用支援事業の進捗率がポイント

通期【売上高(予想)】に占める四半期の割合



通期【営業利益(予想)】に占める四半期の割合



- 1 平成29年3月期 連結業績進捗
- 2 平成29年3月期 第3四半期 決算概要
- 3 平成29年3月期 第3四半期 セグメント別状況
- 4 平成29年3月期 連結業績・配当予想

## 2 平成29年3月期 第3四半期累計業績 (対前年比)

- ✓ 対前年比：売上高**107.1%**、営業利益**115.2%**
- ✓ 対前年対比で堅調に進捗

### 第3四半期累計:対前年比

単位：百万円	平成29年3月期 〈第3四半期累計〉	平成28年3月期 〈第3四半期実績〉	対前年比
売上高	2,872	2,681	107.1%
営業利益	579	503	115.2%
経常利益	580	481	120.3%
当期純利益	392	313	125.2%

**1 平成29年3月期 連結業績進捗**

**2 平成29年3月期 第3四半期 決算概要**

**3 平成29年3月期 第3四半期 セグメント別状況**

**4 平成29年3月期 連結業績・配当予想**

### 3-1 M&S事業の状況 (メディア&ソリューション事業)

✓ 対前年比は、売上高**106.7%**、営業利益**124.1%**  
 要因：戦略的に工場WORKSに資源を集中し、売上構成比が変化

※ 参考資料【M&S事業メディア別売上状況】をご参照ください

単位：百万円		平成29年3月期 ＜通期計画＞	平成29年3月期 ＜第3四半期実績＞	対前年比	年次 進捗率
<b>M&amp;S 事業</b>	<b>売上高</b>	2,070	1,373	106.7%	66.4%
	<b>営業利益</b>	600	430	124.1%	71.8%

＜重点戦略＞

＜進捗＞

**M&S事業**  
(メディア事業)

- 工場WORKS:1社当たり単価の向上**  
 サイトの認知度向上とユーザー拡大を目的とした効果的な広告宣伝を実施することで掲載企業の求人充足を図る。
- 新サービス「製造×転職Makers」の収益化に向けた取組み**

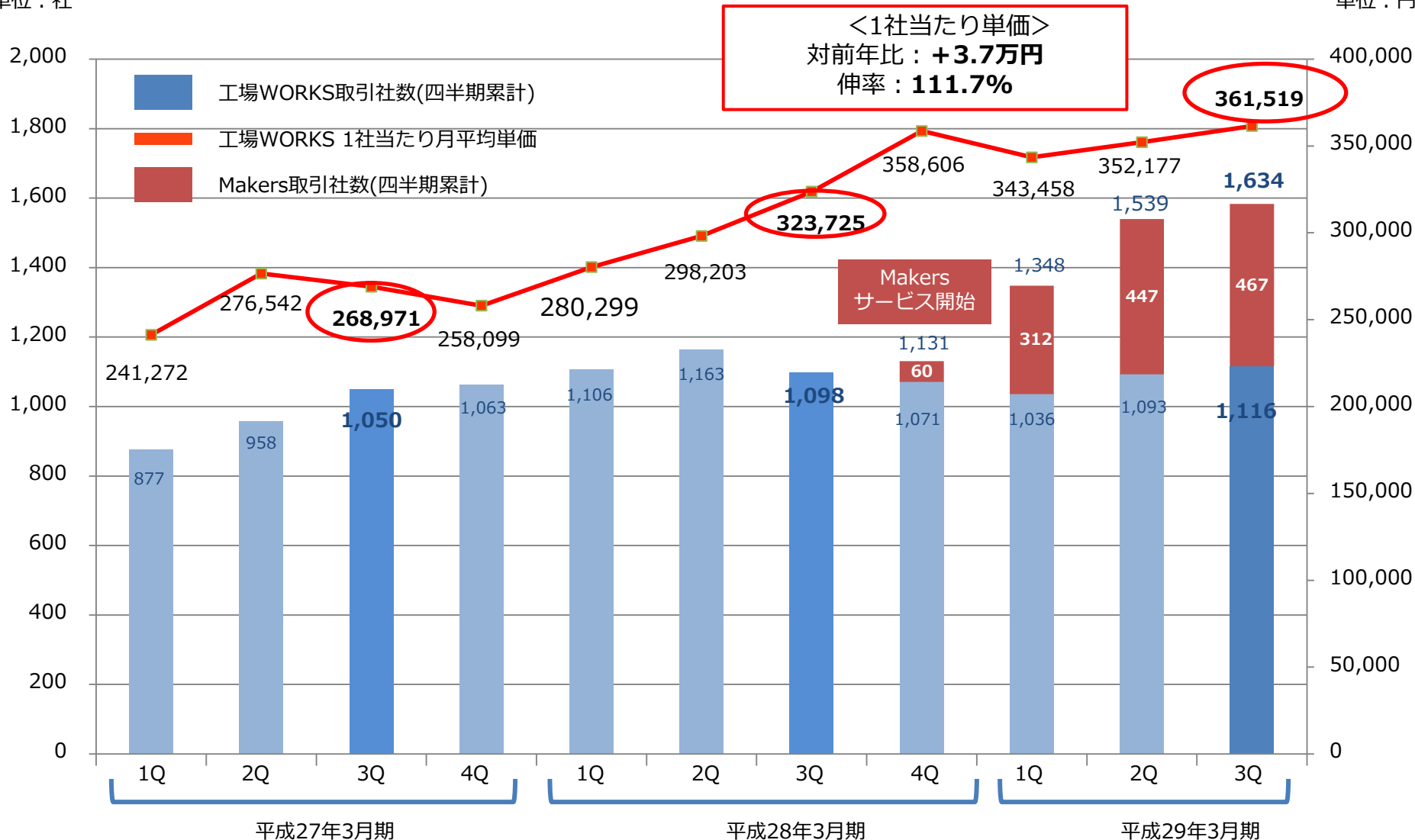
- 工場WORKS:1社当たり単価**
  - ・対前年同期 **111.7%**
  - ・例年通り四半期の進行につれ単価向上傾向  
 32万円(前期第3四半期) ↗ 36万円(第3四半期)
- 製造系メディアへのニーズが堅調**  
 「工場WORKS」及び「製造×転職Makers」のニーズが高いため製造系メディアに資源を集中した活動を行い対前年比**112.9%**



# 参考資料 工場WORKS 1社あたり単価/取引社数

単位：社

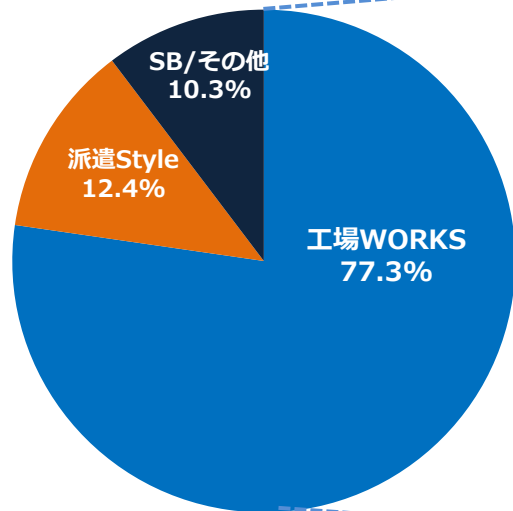
単位：円



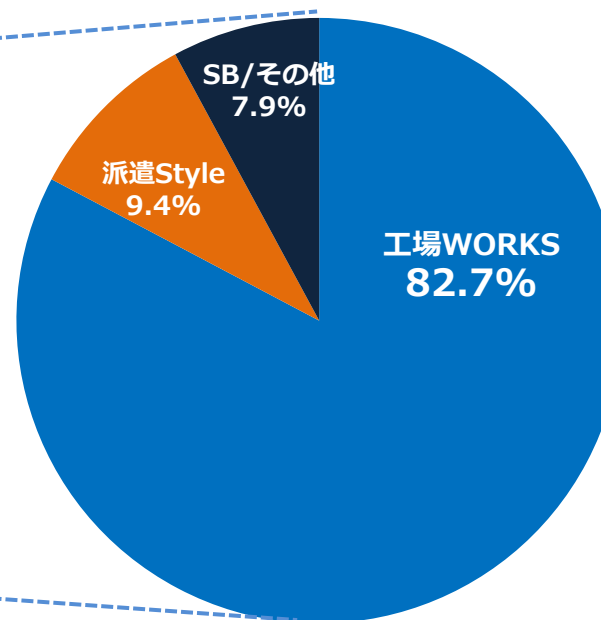
# 参考資料 M&S事業サービス別売上構成比

## サービス別売上構成比

前期:第3四半期累計実績



今期:第3四半期累計実績



※ SB/その他：ホームページ制作やPCスキル診断ソフト、適性検査ソフト等の販売

## 3-2 人材紹介事業の状況

✓ 対前年比は、売上高**121.0%**、営業利益**248.6%**  
 要因:コンサルタント1人当たりの**生産性が継続的に向上**

単位：百万円		平成29年3月期 ＜通期計画＞	平成29年3月期 ＜第3四半期実績＞	対前年比	年次 進捗率
人材紹介事業	売上高	880	638	121.0%	72.6%
	営業利益	170	139	248.5%	82.1%

＜重点戦略＞

＜進捗＞

**人材紹介事業  
(中途採用)**

競合企業の少ない「経営者/経営幹部/専門職」に特化していくことで成約単価の向上及び生産性向上を狙う

1. 成約単価の向上  
\*紹介者1人当たりの紹介手数料
2. コンサルタント1人当たりの生産性向上  
\*目標数値を持つコンサルタント1名が1カ月に成約する金額

1. 成約単価:前期比+15万円と順調に向上  
 189万円 204万円(107.9%)  
 (前期第3四半期累計) (今期第3四半期累計)
2. コンサルタント1人当たりの生産性  
 前期比+42万円と堅調に推移  
 179万円 221万円(123.5%)  
 (前期第3四半期累計) (今期第3四半期累計)

### 3-3 採用支援事業の状況

✓ 対前年比は、売上高**99.3%**、営業利益**9.9%**  
 要因:第2四半期までの新卒採用支援業務の役務提供期間の短期化  
 及び第3四半期中の中途採用支援業務の業績が伸び切らず

単位：百万円		平成29年3月期 ＜通期計画＞	平成29年3月期 ＜第3四半期実績＞	対前年比	年次 進捗率
採用支援 事業	売上高	1,450	860	99.3%	59.4%
	営業利益	190	10	9.9%	5.2%

＜重点戦略＞

＜進捗＞

採用支援  
事業

1.新卒採用支援業務

- ・2018年4月入社の新卒採用活動に向けた受注活動に注力する。
- ・就職倫理憲章の変更の結果、短期/集中的に発生する役務提供に対応し、コスト抑制に向け定型業務を自動化するシステム導入

2. 中途採用支援業務

第3四半期は新卒採用支援業務が閑散期のため、中途採用支援業務を受注する。

1. 新卒採用支援業務

- ・2018年4月入社の新卒採用業務の受注活動を行った。
- ・役務提供のピークを迎える3月に確実にサービス提供を行う体制整備。
- ・定型業務を自動化するシステム導入。

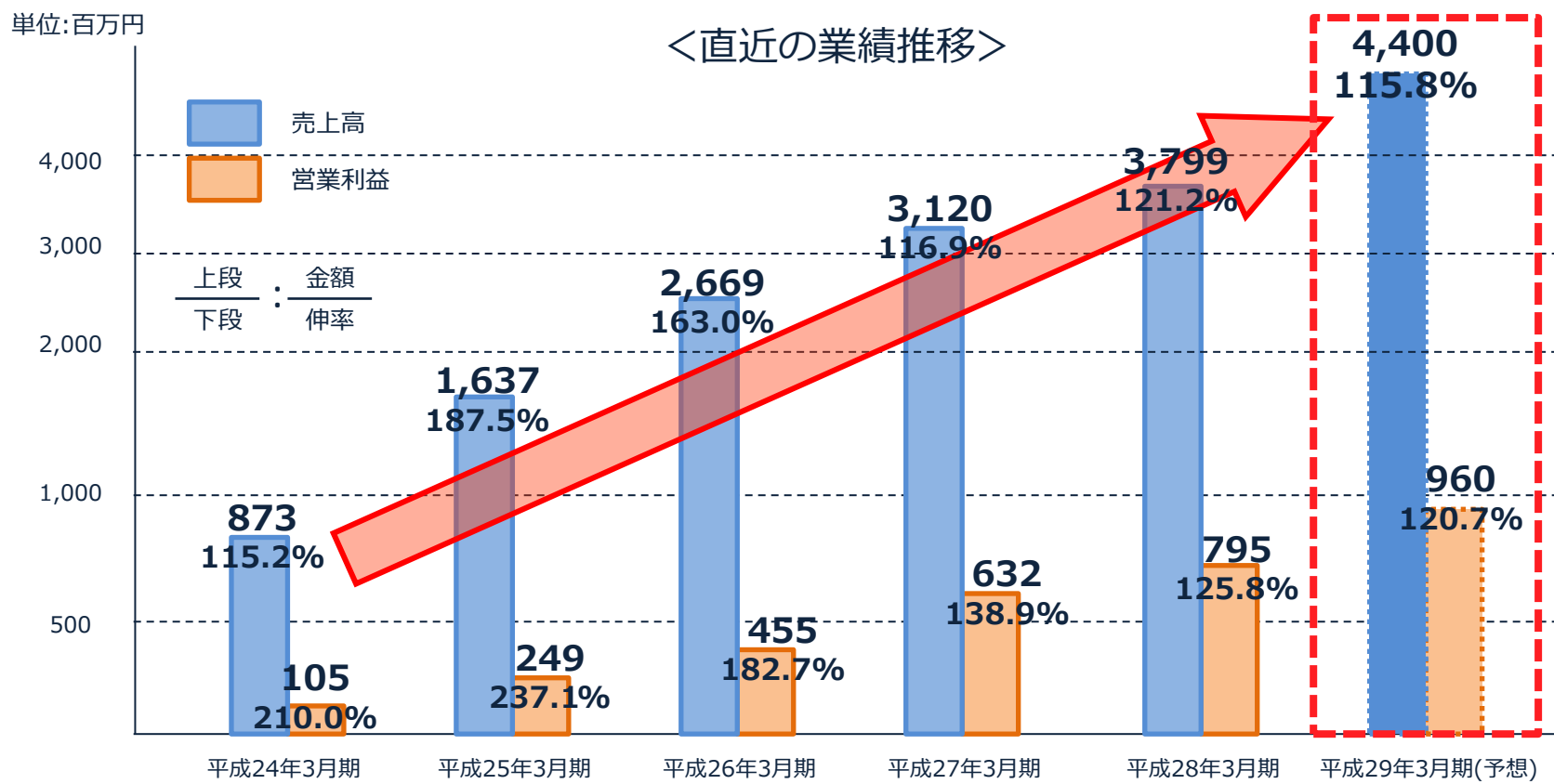
2.中途採用支援業務

・常駐派遣型業務支援サービスの受注を試みるも十分な受注ができず業績が伸び切らず。

- 1 平成29年3月期 連結業績進捗
- 2 平成29年3月期 第3四半期 決算概要
- 3 平成29年3月期 第3四半期 セグメント別状況
- 4 平成29年3月期 連結業績・配当予想

# 4-1 平成29年3月期 連結業績予想

✓ **6期連続 増収増益を目指す**



## 4-2 配当の状況

✓ 年間配当金 **26.5円**

### 配当政策の 基本方針

配当性向

40%以上

当社の利益配分につきましては業績の推移を見据え、株主各位に対する利益還元と事業機会に即応できる財務体質強化のための内部留保の蓄積を総合的に勘案し、適正な利益配分を実施することを基本方針としております。

単位：円	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
平成29年3月期 (予想)	—	0.00	—	26.50	26.50
平成28年3月期 (実績)	—	0.00	—	22.50	22.50*

\*平成28年3月期の内訳：普通配当17.5円+記念配当5.0円

この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2017年2月3日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がございます。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。